

旭川医科大学病院 薬剤師研修プログラム

1. 研修の目的

大学病院薬剤部の職員としての基本的な素養を修得する。個人の臨床・研究・教育の能力だけではなく、チームで働くうえで必要な協調性、医療の専門職にふさわしい使命感・倫理観を養成することを目的とする。

2. 研修期間

入職から 1 年間を基本とする。修得の程度により期間の延長を行うことがある。

3. 研修内容

詳細な項目と到達目標は別紙参照。

- ① オリエンテーション
- ② 内服薬・外用薬調剤
- ③ 注射薬計数調剤
- ④ 注射薬無菌調製
- ⑤ 薬学的患者ケア
- ⑥ 医薬品情報管理
- ⑦ 麻薬管理
- ⑧ レジメン管理
- ⑨ 院内製剤
- ⑩ 医薬品発注・在庫管理
- ⑪ 医療安全
- ⑫ 感染制御
- ⑬ チーム医療
- ⑭ 日直・宿直業務

4. 研修の方法

実際の勤務場所・勤務時間での OJT が中心である。必要に応じて集中的な座学の時間を設ける。指導の際は、①目的の共有→②やって見せる→③やらせてみる→④段階的フォローの手順を意識する。

5. 研修の環境

研修者には、デスクとインターネットに接続可能な PC を 1 人 1 台貸与する。また、大学のメールアドレスおよび microsoft365 のアカウント、電子カルテへのアクセス権を付

与する。研修中は部内および図書館の書籍・雑誌が利用できる。薬剤師賠償責任保険に加入する。

6. 研修責任者

研修統括責任者：田崎 嘉一（薬剤師研修管理委員長、薬剤部長）

研修実施責任者：小野 尚志（薬剤師研修管理委員、副薬剤部長）

7. 研修の運営

規定に基づき、薬剤師研修管理委員会を年1回以上開催する。委員会では研修の実施状況に基づき研修プログラムの策定および見直しを行う。

8. 指導薬剤師

指導責任薬剤師：研修を実施する部署の主任が担当する。

指導分担薬剤師：主任の指示のもと、研修者の指導を行う。

9. 研修の評価

指導責任薬剤師は、自部署の研修状況を把握し、達成度の評価を行う。その際、必要に応じて指導分担薬剤師から聞き取りを行う。